

大学案内

岩手県立大学

IWATE
PREFECTURAL
UNIVERSITY
GUIDE



■ 本学の歩み

- | | | | |
|---------|---|---------|--|
| 1951年4月 | 岩手県立盛岡短期大学開学 | 2005年4月 | 岩手県立大学地域連携研究センターを設置 |
| 1990年4月 | 岩手県立宮古短期大学開学 | 2006年4月 | 盛岡駅西口にアイーナキャンパスを開校/共選教育センターを設置 |
| 1998年4月 | 岩手県立大学開学/初代学長に西澤謙一氏が就任 | 2009年4月 | 中村慶久学長が就任 |
| 2000年4月 | 大学院を開設[ソフトウェア情報学研究科博士前期課程・同後期課程/総合政策研究科博士前期課程] | 2011年4月 | 第二期中期目標・中期計画期間スタート
いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター(i-MOS)を設置
地域政策研究センターを設置 |
| 2002年4月 | 大学院を開設[看護学研究科博士前期課程/社会福祉学研究科博士前期課程/総合政策研究科博士後期課程] | 2013年4月 | 高等教育推進センターを設置 |
| 2004年4月 | 大学院を開設[看護学研究科博士後期課程/社会福祉学研究科博士後期課程] | 2014年4月 | 共選教育センターを高等教育推進センターへ統合 |
| 2005年4月 | 公立大学法人として新たにスタート/谷口誠学長が就任
第一期中期目標・中期計画期間スタート | 2015年4月 | 鈴木厚人学長が就任 |
| | | 2017年4月 | 第三期中期目標・中期計画期間スタート |

看護学部

社会福祉学部

ソフトウェア情報学部

総合政策学部

盛岡短期大学部

宮古短期大学部



岩手県立大学
Iwate Prefectural University

学長メッセージ

大学の「社会的責任」を果たし、 地域のシンクタンク、 中核人才の育成に力を注いでいく

岩手県立大学

岩手県立大学盛岡短期大学部

岩手県立大学宮古短期大学部

学長 鈴木 厚人



岩手県立大学は、岩手県の歴史や風土、伝統の上に、21世紀の新たな時代を拓く高度な教育・研究の拠点として県民の大きな期待を受けて、「『自然』、『科学』、『人間』が調和した新たな時代を創造することを願い、人間性豊かな社会の形成に寄与する、深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間を育成する大学」を目指すことを理念に掲げて開学しました。

そして2018年に20周年を迎え、これを期に地域に根ざした高等教育機関に期待される役割、すなわち社会・地域の大学として、人類の抱える問題や社会問題等を共有し解決に向けて努力する「大学の社会的責任」の徹底に力を入れています。特に、人口減少と少子高齢化、環境悪化や格差是正などの社会的課題への対応や、社会や地域の目標である持続可能社会の実現、住民・公共機関・企業と大学とのより柔軟な協力・連携（産学官民）体制の確立に取り組んでいます。

また、グローバル社会の中で大学教職員・学生には、地球上に暮らす人類が、好むと好まざるとにかかわらず結び付いている状況の中で、地球的課題は他人事ではないことを理解し、自分の行動や身の回りに起きる出来事などを世界的視野から俯瞰できる能力と感覚を磨くことが求められます。そこで、「大学の社会的責任」の追及を国際的に展開するために、2009年より本格化した国連と世界の高等教育機関を結ぶ国連アカデミック・インパクトに参加し、“人々の国際市民としての意識を高める”、“貧困問題に取り組む”、“持続可能社会(SDGs)を推進する”、“異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く”の4行動原則を推進しています。

このように本学は、教育・研究・地域活動を通して、文化への造詣、社会的・国際的活動など多面的な機能を有する地域のシンクタンクとしての役割と、地域の中核人才育成に力を注いでいます。

「人才」：日本語では「人材」と同義語ですが、中国語では「すぐれた才能を持つ人」という意味で使用されており、本学学長メッセージではこの「人才」を使用しています。



公立大学法人岩手県立大学の 教育研究組織



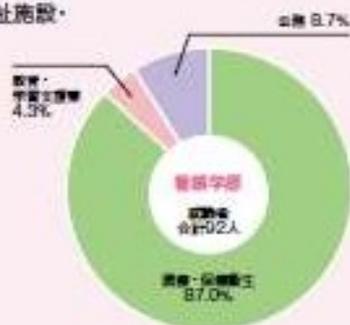
看護学部

遠沢キャンパス

- 深い専門知識と技術を持った看護職者を育てます。
- 課題の発見と、その解決に向けて情報を集め、考え、表現する能力を育てます。
- 1年次から専門科目や臨地実習を取り入れ、早期に実践能力を身につけます。
- 病院・保健センター・訪問看護ステーション・介護老人福祉施設・保育園・学校など多彩な実習施設で看護学を学びます。

取得可能な資格・免許状等

看護師国家試験受験資格 / 保健師国家試験受験資格 / 助産師国家試験受験資格 / 養護教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健)



▲ 卒業生の主な進路状況 (平成30年度実績)



いわて創造人材の育成と 地域の未来創造に貢献する大学へ

ふるさとの未来を拓き、未来を担う人材を育む「学びの府」として
地域に貢献する大学を目指しています。（第三期中期目標・中期計画）

基本姿勢

【未来を切り拓く力を高める教育】

【未来創造に資する地域貢献】

【教育と地域貢献の根幹となる高い研究力】

基本目標

学生の「知的探究心と創造力」を高める大学（教育）

実学実践教育及び地域志向教育を通じ、いわて創造人材（知的探究心、創造力を備え、地域の未来を切り拓く人材）を育成していきます。

「いわて創造学習」発石コースフィールドワークの様子



新たな価値を創造する大学（研究）

地域社会の基盤形成に資する基礎的研究や実学実践に基づく応用的研究、さらには社会環境の変化に適切に対応し、専門領域を横断した学術研究を推進することにより、新たな価値を創造していきます。

岩手県立大学研究紹介動画「けんだいちいさ研究室」より
（3D球体ディスプレイ）



地域の未来創造に貢献する大学（地域貢献）

地域の「地の拠点」として、ふるさと振興の担い手の育成、多様な学習機会の提供、地域の課題解決に向けた取組を行うことにより、地域の活力創出に貢献するとともに、多文化共生社会の実現に向け、地域の国際化を支援していきます。

オハイオ大学、中部大学との合同国際女性ボランティア



